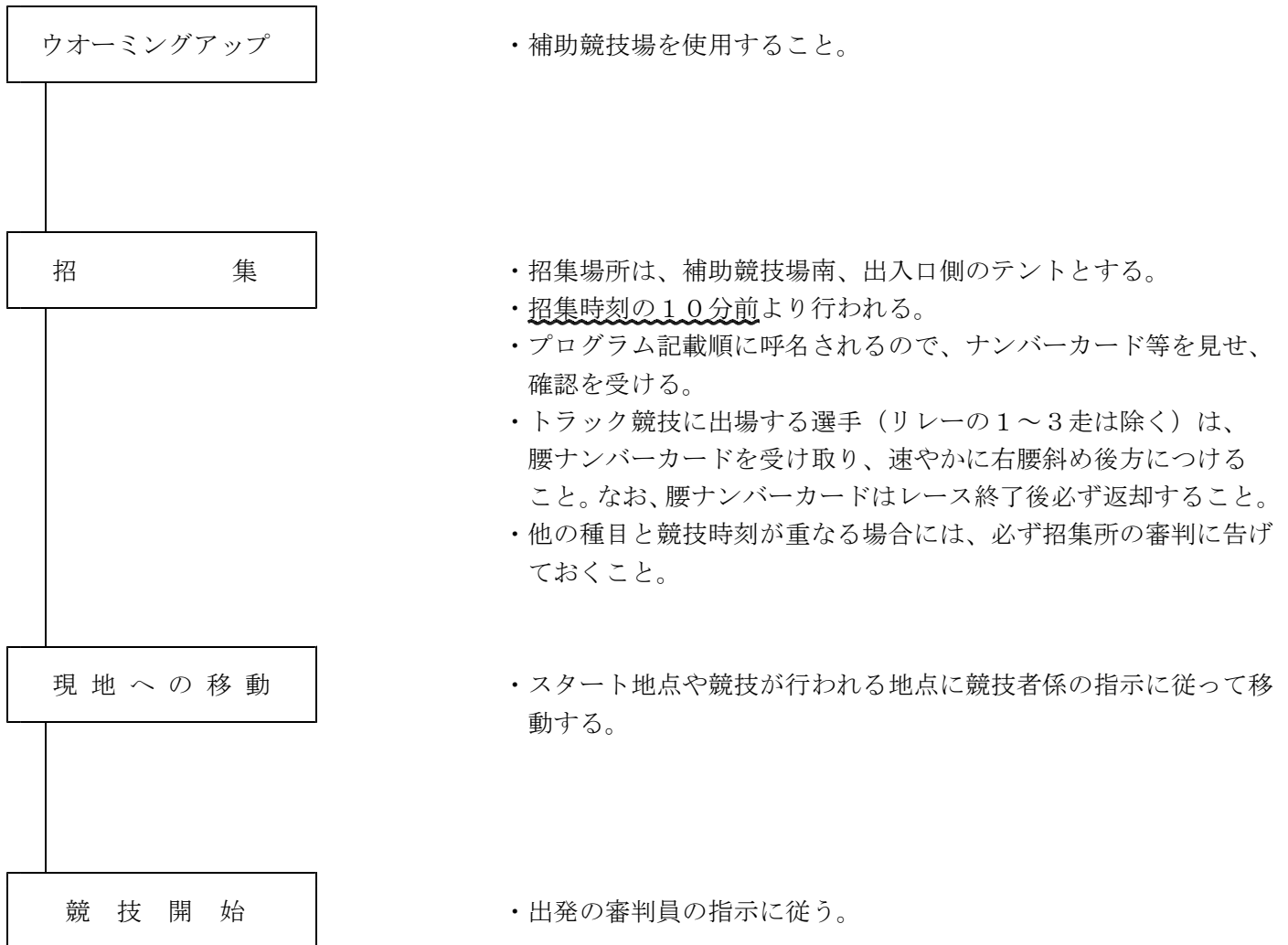


競 技 注 意 事 項

1. 競 技 方 法 2015年 日本陸上競技連盟競技規則及び県中体連陸上競技部申し合わせ事項で行う。
2. ナンバーカード 個人ナンバーカード（男女赤字）を胸背部につける。ただし、跳躍種目は胸背いずれかでよい。トラック競技に出場する選手（リレーの1～3走者を除く）は全員腰ナンバーカード（大会本部で用意する）を右腰後方に付ける。
3. 招 集 ○競技者は招集時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。
○トラック競技は競技時刻の20分前、フィールド競技（棒高跳を除く）は40分前、棒高跳は100分前を招集時刻とする。
○代理人は認めない。（複数種目出場者とリレー競技は除く）
○招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
○招集場所は、補助競技場南、出入口側のテントとする。
4. 練 習 場 ウォームアップ場は、補助競技場のみとする。（ウォームアップ場使用上注意参照）
5. 使 用 器 具 器具は本部で用意したものを使用すること。但し、棒高跳のポールは各自のものを使用すること。バトンも本部で用意したものを使用し、レース後ただちに係員に返すこと。
6. トラック競技 ○タイムレースとして決勝は行わない。同組、別組とも同記録は同順位とする。
○短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
7. フィールド競技 走幅跳、砲丸投は3回試技とし、トップ8は行わない。
8. バーの上げ方 男子走高跳 145 150 155 160 165 170 175 180 185 以後3cm
男子棒高跳 240 以後10cm
女子走高跳 125 130 135 140 145 150 155 160 以後3cm
女子棒高跳 150 170 190 以後10cm
※当日変更することがある
9. ス パ イ ク トラック種目・走幅跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。
10. 表 彰 各種目の1～8位に賞状を授与する。
※種目別の表彰は行わない。競技終了後、顧問が速やかに当日指定した場所まで受け取りに来ること。
11. そ の 他 ○当日審判員のいない学校は、選手の出場を停止する。
○当日の選手の変更は一切認めない。
○競技する選手以外はトラック、フィールド内に立ち入ることはできない。
○更衣は更衣室で行い、更衣室は常に清潔に努め、ロッカー等には貴重品・衣類等は置かない。
○空き缶・ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。
○応援幕はスタンド上段に、のぼりはメインスタンド最上段に、テントはスタンドの中段より上に設営すること。
○大型映像装置側サイドスタンドは、映像装置前にテント・のぼり等の設置を禁止する。
○スタンドの手すり際に立っての応援や、メインスタンドでの集団応援は禁止する。
また、応援はトラック種目スタート時やフィールド種目競技中には、競技に支障がないように十分配慮すること。
○ウォームアップ場には、設置してある用器具以外は持ち込まない。
○中学生は携帯電話を競技技場内では原則として使用しないこと。
○トランシーバーを使用する場合には、本部で使用する8・9・10・11チャンネルは使用禁止とする。

選手注意事項

選手は以下の流れに従って動き、失格にならないように気を付けて下さい。なお、リレーに出場する選手は下の注意事項も守って下さい。



注意1 リレーについて

招集は4人そろって他の種目と同様、上記の通り行う。

なお、オーダーは午前中に招集所で走順を記入すること。招集時刻の1時間前までは変更可能とする。